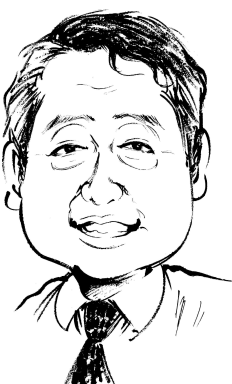
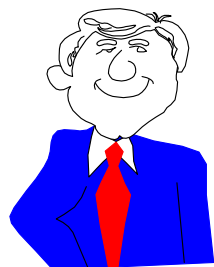




あむーる

島根県立松江北高等学校 14R 学級通信 第 11 号

No.11



▼小田さんの「19の頃」がJRAのCMで流れています。この曲、アルバム『個人主義』の1曲。彼の最高傑作アルバムです。

クリスマスの約束2011 Merry Christmas

～小田和正 人のやらない世界に踏み出す！～

12月25日（日）深夜の小田さんの番組、「クリスマスの約束2011」（山陰放送）を観た。それぞれ主義・主張の異なる42名のミュージシャンが他人の楽曲を渾身の力で歌い、ハモる、28分58秒の大コーラスであった。実は二年前の2009年にも同様の試みを行い（22分50秒）、終了後スタンディングオベーションで拍手が鳴り止まず、小田さんが泣いてしまう、というハプニングがあった。彼の人生でこんなに拍手をもらったことは今までにない、と述べている。この番組は「第36回放送文化基金賞テレビエンターテインメント番組優秀賞」を受賞し、日本の音楽業界に金字塔を打ち立てた。今年はそれを越えよう、ということでみんなが結束したらしい。

今年の音楽番組を観ていると、ほぼ全てが、「被災者の人達に元気・勇気を与えたい」「震災で苦しむ人達にメッセージを届けたい」という言葉ばかりを聞く。確かにそれはそうなのだが、少々押しつけがましくはないか？僕の大好きな松山千春は「何かチョットおかしくはないか？」と、こんなことを問題提起していた。

「感動、勇気を与えたい」とか言って叫んでいるけど、バカじゃないか？そんな「感動」とか「勇気」なんてものは受けるものであって、決して与えるものなんかじゃないだろう。例えば、オレが「みんなに感動を与えます」「勇気を与えます」なんて歌っていたらおかしいだろう。そういう言い方はオレは一番嫌いなんですよ。要は、感動っていうのは、歌を聴いて受けるものだろう。それを最初から「与えます」なんておかしいよ。そんな高飛車な言い方はやめてくれっていうんだ。

小田さんは、いっさい震災には触れずに、淡々と歌い上げた。

「この番組は、チャリティーだということを謳わずに、私たちは懸命に音楽と向き合おう。見てくれている人たちにも、そのままを伝えよう」と。あの大きな震災の後にも桜は開花した。何事もなかったように、ただ桜は咲いた。それを見て、よし頑張ろうと思う人もいれば、こんな時に桜なんか咲くなよって人もいるはず。見る人によってさまざまだけど、「クリスマスの約束」はそんな桜のような存在では。小田さんに男を見た。

●卒業のない勉強の日々でした。楽しい、という気持ちになるまではずいぶんと練習が必要なんだ、なんて当たり前だけれどこんなにも歌うって素晴らしい、という初心に帰れる事はなかなかありません。当日は聴きたい！と言ってくださる、誰かのために、最高の手紙をかくような気持ちで歌いました。手紙をたくさん書く「さびしさ」を愛というならば、ありったけの愛が集まったのだと思います。小田さんは、ありったけの愛で私たちに手紙をくださり、私たちはありったけの愛で練習して、ひとつの太い声になった瞬間はサイコーでした！！

（一青 窈）

●本当に強いエネルギーを持った番組です。小田さんは凄いです。あれだけたくさんのアーティストのエネルギーをを一つに集めて、外に発信していく訳ですから。きっと僕たちがステージで感じた想いは多からず少なからず、テレビを通じて色んな方の心に届くでしょう。参加できて、幸せでした。（清水翔太）

●なんだろう、あの感動は…歌い終わると決勝戦で勝利したくらい高揚してます。しかも団体戦なので同じ喜びを分かち合えるところが、我々ミュージシャンにはなかなか体験できないことなのです。練習は大変ですが、あの達成感はやや癖になりそうな気がします。そして普通の合唱とは唄のPOWERが違います。メンバーのほとんどがリードボーカルなのですから声量が違います。大メドレーは日本のミュージックシーンの中で奇跡のような出来事です。これは小田さんに対するメンバーの信頼感と小田さんの統率力のおかげです。

（藤井フミヤ）

●個人的には、練習でふざけていて怒られた時もありましたけど、そういう時でもみんなが楽しそうにしているのが嬉しかったです。歌は勿論ですけど、本番まで、どれくらいみんながみんなを好きになれて、どれくらい笑っているかが大事な気がしますから。

（中村 中）

●僕は当然、震災が大きなテーマになるだろうと予測して行ったのだけれど、小田さんから出た言葉は、「クリ約は10年ずっとこの時期に、ミュージシャンからのクリスマスプレゼントとして続けてきた。今回もあえて震災支援のためにだけを謳うのではなく、いつものクリ約と同じように純粹に歌を届けたい。そして、やりたいのはい昨年を上回る大メドレーなんだ。」

（スターダストレビュー 根本 要）

●出演したアーティストさんたちが、全身全霊で歌を届けている姿を間近で見て、肌で感じる事ができて幸せでした。メドレーでは、前に出て一人一人歌っていく、その背中を見ながら、本気の歌にコーラスで寄り添えるしあわせを感じさせてもらえました。

（いきものがかり 吉岡聖恵）

参加者の感想など...



たとえば

作詞・作曲 小田和正・さだまさし

話したいことが幾つもある ああ頃の僕に会えたら
たとえば 迷いながら選んだ道の 辿り着く場所に置いて
伝えたいことは他にある ああ頃の僕に会えたら
たとえば 信じていたことの正しさと その過ちについて
不安を胸に映し 怯えたあの夜の闇も
たとえば ありもしない夢に 紛れて逃げたことも

ああ頃の 僕に 告げたいのは
ひたすら そこから ひたすら 歩き続けること
ああ頃の 歩幅でいいから ひたすら 生きてゆくこと
ひたすら ただ ひたすら 生きてゆくこと

尋ねたいことが 幾つもある 未来の僕に会えたら
たとえば 傷ついたり 愛された この生命の重さや
尋ねたいことは 他にもある 精一杯 生きたくどうか
たとえば 奇跡的に めぐり会えた 愛しい 人のことを

ここからの 僕に 言えることも
ひたすら このまま ひたすら 歩き続けること
今のままの 歩幅でいいから ひたすら 生きてゆくこと
ひたすら ただ ひたすら 生きてゆくこと

ひとつだけ 言えることは 全ては 今日のために
たいせつなことは ひとつだけ 全ては 今日のために
話したいことが幾つもある ああ頃の僕に会えたら
話したいことが幾つもある 未来の僕に会えたら

▼2007年の「クリスマスの約束」で、
とんでもない企画が実現しました。小田
和正とさだまさしの二人で、この番組の
ためにオリジナル曲を作って、全国のみ
なさんへのクリスマス・プレゼントにし
よう、という試みです。2人の巨匠が集
まって、ああでもない、こうでもない、
と熱心に議論しながら詩が少しずつで
きていく過程は本当に心温まる光景でし
た。そして本番、小田さんの静かなピア
ノで始まったこの歌声は、一生忘れられ
ない名曲となりました。それがこの「た
とえば」です。もうDVDが擦りきれ
くらい何度も聞きました。今はこの
「こめ」で公開（「たとえば」で検索）さ
れていきますからぜひ聞いてみて下さい。
メロディー・詩の美しさとそのハーモ
ニーに思わず涙が出そうになる曲です。
残念ながらCD化はされていませんので
（さださんにお問い合わせはしましたが未実
現）、あまり知られていません。

「たとえば」を聴いて！

「準備」と「用意」の違いの解答

「準備」と「用意」はどう違うのでしょうか？という宿題を本校図書館発行の「らいぶらりい」12月号で出題しておきました。国語辞典で「準備」を引くと「用意」と書いてあり、「用意」を引くと「準備」と書いてある。広辞苑でも役に立たない。果たしてこの二つの語は同じでしょうか？

確かに「旅行の準備をする」とも「旅行の用意をする」とも言えますね。前もって整える、という点では同じ意味です。でも「期末試験は準備不足だった」とは言えますが、「用意不足だった」とは言いませんね。「競技の準備運動」とは言えても「用意運動」とは言いません。「準備」は「用意」と比べると、「以前から予定されている事柄や行事のために、ある程度の時間をかけて具体的に整える」というニュアンスが強い単語です。一方、運動会で「用意ドン」とスタートしますが、「準備ドン」とは言いませんね。誘拐事件で「身代金を1億円用意しろ」とは言いますが「準備しろ」とは言いません。「用意」は「準備」より「整える時間が短く、具体的な支度よりも精神的な心構えをする」や「不測の事態に備える」といったニュアンスの強い単語です。（清ルミ教授を参考）

この件に関しては、図書館にある『類義語使い分け辞典』（研究社、1998年）が役に立つかもしれません。

準備 = 比較的大規模な物事を、長期にわたって段階的に進めること。

用意 = 準備段階を終えて、すぐ始められる環境・状態を整えること。

日本語も難しいことがおわかりいただけたでしょうか。ことばの世界には、こんな面白い問題が存在するのです。



●おかげさまで「チーム八ちゃん」が好調です。目茶たくさんの人達にアクセスしてもらい（山崎先生の結婚式の日は特に多かった！）、励ましのことばを山ほどいただきました。まだ若い頃、日本一の進学校（！）であった北高の進路指導や英語指導の中身がもっと知りたいと思い、北高のS先生にお願いしましたが、「またそのうちに教えてやるから…」と相手にされず、資料を見せてもらうことができませんでした（最近をよく教えてもらえるようになりましたが）。教員の世界は、学校で困ってしまい、非常に閉鎖的で、よほど親しくないと、情報の交流などはあまりないのです。ある業者の方は「先生の作られたこれだけの貴重な資料をタダで出してしまうていいのですか？もったいない！」と、言っていたいただきましたが、全国の先生方でお互いに作った資料を見せっこして、さらにいい教材に仕立て上げていこう、というのがそもそもの狙いですから、いっこうに構わないわけです。それにはまず私が一歩踏み出さねばなりません。いろいろな業者の方にこういう企画をと持ちかけてはみましたが、どれも乗ってくれないので、それなら自分で身銭を切って始めようと思ったわけです。作るだけでなく、毎月維持するのにも多額の費用がかかりますが、誰もやったことのない世界ですから、いつかは分かってもらえる日が必ず来ると、志を持ってやっています。現に若い先生方から感謝のお便りを数多く頂戴していますから。220人で始めたこの企画が、果たしてどこまで成長することやら。温かく見守ってください。更新に精を出します！

＜「チーム八ちゃん」のホームページ＞

<http://teamhacchan.wordpress.com/>



Check!



早起きの勧め

▼鉄鋼業で成功し、引退後は教育や文化のために私財を投じたことで有名なアンドリュー・カーネギー（鉄鋼王）は、移民の子であり、その逆境をバネにして大成者となったと言われています。そしてもう一つ、彼に幸福をもたらした重要なことがありました。それは「朝早く起きる」という小さな習慣を持っていたことでした。

私たちが早起きするのは、その日に楽しいことがあるからです。例えば旅行へ行くとか、好きな人と会う日です。人は楽しいことは一刻でも早く楽しみたいと思うものです。ですから、早起きする人は積極的に、人生そのものを楽しんでいけると言えるでしょう。成功者に早起きが多いのは、その証拠です。ちょっと早起きしてみれば、八幡は何時に寝ても、朝の時にはちゃんと目が覚めます。親からもらった（母も早起きだった）最高の財産だと感謝しています。o_o_o

八は映画が大好きで、松江南高に勤めている時代はよくサティへ出かけていた。まず映画館の最前列中央に座り（ガラガラなのだ）、アイマスクをかけて耳だけの訓練をするのだ。これが結構勉強になる。さっぱり分からないことも度々。面白いなと思った表現は忘れないうちにメモしておく。これが後で、自分の勉強や辞書の編纂に役に立つ。◆◆◆◆◆

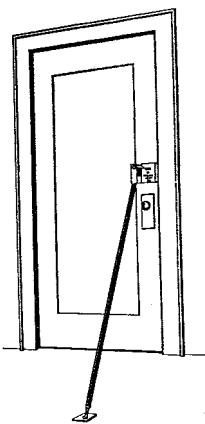
『沈黙の断崖』(Fire Down Below)㊟

"We have a situation."という表現が何回か出てきた。普通は「状況」という意味の単語だが、ここでは「やっかいな状況」「緊急事態」という意味だ。結構よく使われる表現であるのにまだ辞書への登録が遅れている。小説にもよく出てくる表現だ。

トラックに追いかける場面でトラックの頭にMACKとあった。これが、昔調べたMack truckで懐かしかった。どんなトラックでしょうか？「おれのいない間にsocial butterfly（派手な社交家）になってしまったな」もメモしておいた。educate（思い知らせる）の使い方も参考になった。㊟

『ピースメーカー』(The Peacemaker)㊟

核弾頭をはずす際に、"Easy, easy"（そーっと、そーっと）と言っていた。知らないとなかなか出てこない言葉だな。㊟



▲ Fox lock

『デイト』(Daylight)㊟

女性がアパートに帰ってドアを閉めてから、内側から心棒のようなものをかける場面が出てくる。これが「Fox lock」と呼ばれるもの。以前エド・マクベインの小説を読んでいてこの英語が分からなくて、ニューヨークの友人に苦勞して店を探し回ってもらって、ようやくパンフレットを手に入れてもらい、理解できた。右のようなもの。マクベインの小説には頻繁に出てきた。「Watch your back.」（でしゃばるなよ）も参考になった。最後にスタローンが担架で運ばれる時にも、easy easyと言っていた。㊟

■In fact は「実は」ではない!～英文読解にも頻出!㊟

クリントン元大統領が、以前アメリカ国民に向けた釈明放送で「彼女と性的関係を持った。それは不適切なものだった。In fact, that was wrong.」と述べた。この表現は多くの人々が理解しているような「実は」という単純な意味ではない。このことを日本で初めて活字にしたのは八だ。高校時代「実は」と習っていたのだけれども、大学で多くの小説や映画を見ていて何度も出くわす度に「おやっ?」と思い始めた。以来、何百と用例を集めていくにつれて、だんだんこの成句の実態が明らかになってきた。クリントン大統領の発言も「不適切だった。いやそれどころか、それは道徳的にも間違ったものであった」と言っているのだ。興味のある人はin factを引いて、『ライトハウス英和』が（＝つまり八幡先生が）こころ辺をどう書いているか見てごらん。これからは頻出の表現だからね。㊟

映画も英語の勉強になる! ~Part II~

早起きの勧め